



2020年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年5月12日

上場会社名 情報企画

上場取引所 東

コード番号 3712 URL <https://www.jyohokikaku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松岡 勇佑

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 井口 宗久

TEL 06-6265-8530

四半期報告書提出予定日 2020年5月14日

配当支払開始予定日

2020年6月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第2四半期の業績(2019年10月1日～2020年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	1,466	0.1	600	7.1	600	6.8	413	6.9
2019年9月期第2四半期	1,468	5.8	560	14.0	562	14.4	386	14.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	123.41	
2019年9月期第2四半期	115.41	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第2四半期	5,295	4,262	80.5
2019年9月期	5,170	3,983	77.0

(参考)自己資本 2020年9月期第2四半期 4,262百万円 2019年9月期 3,983百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期		35.00		40.00	75.00
2020年9月期		40.00			
2020年9月期(予想)				40.00	80.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	5.3	1,100	7.8	1,100	7.5	750	6.0	223.89

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期2Q	4,090,000 株	2019年9月期	4,090,000 株
期末自己株式数	2020年9月期2Q	740,243 株	2019年9月期	740,146 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期2Q	3,349,817 株	2019年9月期2Q	3,349,854 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2019年10月1日から2020年3月31日の6ヶ月間)におけるわが国経済については、新型コロナウイルスの影響により3月頃より急激に悪化し、消費の低迷、株式市場の大幅下落、為替相場の円高など動きの激しい状況となっています。当社の主要な販売先である金融機関におきましては、新型コロナウイルスに伴う体制の整備や緊急融資・相談等で多忙な状況ですが、システム投資の検討は進めて頂いており、費用対効果の大きい当社システムの受注獲得に繋がっています。

このような環境下において、「システム事業」につきましては、「担保不動産評価管理システム」では大型案件の獲得に成功し、「融資稟議支援システム」も信用金庫中心に多くの受注を獲得するなど予定通り進んできております。システム開発に係る「システムインテグレーション部門」とシステムのメンテナンスを行う「システムサポート部門」の当第2四半期累計期間の売上高は前年同期並みとなり、営業利益は材料費や外注費の削減により前年同期比増益を達成しています。

「不動産賃貸事業」につきましては、2020年1月に新たに賃貸店舗を購入し、賃貸収入の売上高は前年同期比増収となり、営業利益も前年同期比増益となっています。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,466,676千円(前年同期比0.1%減)、営業利益は600,444千円(同7.1%増)、経常利益は600,720千円(同6.8%増)、四半期純利益は413,392千円(同6.9%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①システム事業

「システムインテグレーション部門」

主要なシステムである「担保不動産評価管理システム」は大手金融機関や信用金庫から大型受注を獲得したほか、「財務分析・企業評価支援システム」や「融資稟議支援システム」は地方銀行や信用金庫からの多くの受注があり、営業活動は順調に進んでいます。信用組合のシステム共同センターである信組情報サービス株式会社宛てにマネーロンダリング対策のシステムを販売しましたので、今後、各信用組合様にご利用頂くこととなります。「融資稟議支援システム」は信用金庫中心に前年同期比増収となっています。

以上の結果、システムインテグレーション部門の売上高は、前年同期並みの751,792千円(前年同期比3.5%減)、セグメント内の売上高構成比は54.4%となりました。

「システムサポート部門」

メンテナンスの売上高は、例年の路線価データ納品やシステム導入が進み前年同期比増収となり、システムサポート部門の売上高は630,348千円(前年同期比0.6%増)、セグメント内の売上高構成比は45.6%となりました。

以上の結果、システム事業の売上高は1,382,140千円(前年同期比1.7%減)、セグメント利益は558,661千円(同5.3%増)となりました。

②不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、2020年1月に賃貸店舗1物件を購入し、賃貸マンション3棟、立体駐車場1棟、賃貸オフィス1棟及び賃貸店舗2件の計7物件となり、当第2四半期累計期間の売上高は、賃貸収入84,535千円(前年同期比34.9%増)、セグメント利益は41,782千円(同37.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、5,295,643千円となり、前事業年度末に比べ124,883千円増加いたしました。これは主に新規不動産物件の購入によるものです。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、1,032,883千円となり、前事業年度末に比べ154,248千円減少いたしました。これは主に、前受収益及び買掛金が減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、4,262,759千円となり、前事業年度末に比べ279,132千円増加いたしました。これは主に四半期純利益の計上によるものです。

この結果、自己資本比率は、80.5%(前事業年度末は77.0%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ487,026千円減少し、1,665,333千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は356,438千円（前年同期比34.6%減）となりました。これは主に税引前四半期純利益の計上により資金が増加した一方で、前受収益の減少及び法人税等の支払による資金の減少があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は709,282千円（前年同期は5,004千円の使用）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は134,182千円（前年同期比14.4%増）となりました。これは主に配当金の支払によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスの影響は大きく、今後、消費や生産の低迷が予想されます。主要な販売先である金融機関の取り巻く環境も大きな変化が考えられます。

このような状況の中、当社といたしましては、打合せの遅れによる受注や納期の遅延が懸念されますが、テレワーク等の推進により開発は滞りなく進めており、2020年9月期におきましては、公表しています通り、売上高3,000,000千円（前年同期比5.3%増）、営業利益1,100,000千円（同7.8%増）、経常利益1,100,000千円（同7.5%増）、当期純利益750,000千円（同6.0%増）と予想しております。

3. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,152,359	1,665,333
売掛金	687,607	589,442
仕掛品	42,927	58,296
未収収益	3,339	4,245
その他	10,462	9,710
流動資産合計	2,896,696	2,327,028
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,165,933	1,336,359
減価償却累計額	△246,384	△269,555
建物(純額)	919,549	1,066,803
構築物	4,205	4,205
減価償却累計額	△3,003	△3,123
構築物(純額)	1,202	1,082
機械及び装置	75,054	75,054
減価償却累計額	△75,054	△75,054
機械及び装置(純額)	0	0
工具、器具及び備品	64,065	66,834
減価償却累計額	△59,304	△60,578
工具、器具及び備品(純額)	4,761	6,255
土地	1,133,696	1,664,792
有形固定資産合計	2,059,209	2,738,934
無形固定資産		
電話加入権	1,116	1,116
ソフトウェア	14,923	17,918
無形固定資産合計	16,039	19,034
投資その他の資産		
関係会社株式	10,000	10,000
繰延税金資産	131,586	141,954
会員権	12,650	12,650
差入保証金	44,577	46,042
投資その他の資産合計	198,814	210,647
固定資産合計	2,274,063	2,968,615
資産合計	5,170,760	5,295,643

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	135,449	99,532
未払金	85,502	87,683
未払消費税等	30,766	32,224
未払法人税等	198,367	211,286
前受金	16,737	—
前受収益	337,887	182,814
賞与引当金	73,550	76,700
製品保証引当金	5,194	4,521
その他	10,008	8,446
流動負債合計	893,464	703,208
固定負債		
役員退職慰労引当金	248,654	255,596
長期預り保証金	45,013	74,079
固定負債合計	293,668	329,675
負債合計	1,187,132	1,032,883
純資産の部		
株主資本		
資本金	326,625	326,625
資本剰余金		
資本準備金	365,175	365,175
資本剰余金合計	365,175	365,175
利益剰余金		
利益準備金	1,816	1,816
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	4,054,102	4,333,501
利益剰余金合計	4,055,919	4,335,317
自己株式	△764,091	△764,357
株主資本合計	3,983,627	4,262,759
純資産合計	3,983,627	4,262,759
負債純資産合計	5,170,760	5,295,643

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
売上高	1,468,322	1,466,676
売上原価	575,334	516,327
売上総利益	892,988	950,348
販売費及び一般管理費	332,226	349,903
営業利益	560,761	600,444
営業外収益		
受取利息	74	66
未払配当金除斥益	181	57
受取保険金	1,614	—
助成金収入	—	135
その他	16	16
営業外収益合計	1,887	275
経常利益	562,649	600,720
税引前四半期純利益	562,649	600,720
法人税、住民税及び事業税	180,270	197,695
法人税等調整額	△4,226	△10,367
法人税等合計	176,044	187,327
四半期純利益	386,605	413,392

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	562,649	600,720
減価償却費	26,377	28,146
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,859	3,149
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	1,895	△673
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	10,191	6,941
受取利息及び受取配当金	△74	△66
受取保険金	△1,614	—
売上債権の増減額 (△は増加)	206,703	98,165
たな卸資産の増減額 (△は増加)	21,685	△15,368
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	957	△132
仕入債務の増減額 (△は減少)	36,024	△35,916
未払金の増減額 (△は減少)	△82	△968
未払消費税等の増減額 (△は減少)	16,781	1,457
前受収益の増減額 (△は減少)	△153,591	△155,073
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△11,778	△18,267
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△1,188	29,066
小計	710,078	541,180
利息及び配当金の受取額	74	66
保険金の受取額	1,614	—
法人税等の支払額	△166,603	△184,808
営業活動によるキャッシュ・フロー	545,164	356,438
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△809	△703,264
無形固定資産の取得による支出	△4,194	△4,552
差入保証金の差入による支出	—	△1,465
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,004	△709,282
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△265
配当金の支払額	△117,252	△133,916
財務活動によるキャッシュ・フロー	△117,252	△134,182
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	422,907	△487,026
現金及び現金同等物の期首残高	1,942,368	2,152,359
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,365,276	1,665,333

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	システム事業	不動産賃貸事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,405,650	62,672	1,468,322
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	1,405,650	62,672	1,468,322
セグメント利益	530,359	30,402	560,761

(注) 各報告セグメントにおける利益は、営業利益を使用しております。

II 当第2四半期累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	システム事業	不動産賃貸事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,382,140	84,535	1,466,676
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	1,382,140	84,535	1,466,676
セグメント利益	558,661	41,782	600,444

(注) 各報告セグメントにおける利益は、営業利益を使用しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期会計期間において、賃貸用不動産を1物件取得しております。

これにより、前事業年度の末日に比べ、当第2四半期会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「不動産賃貸事業」において678,871千円増加しております。